



# ネイチャーセンターだより

2023年7・8月号

## 新・いきもの図鑑



2023年6月20日 北方原生花園にて撮影

## ヒザグロナキイナゴ (バッタ目)

体長17～30mmの小さなバッタの仲間です。道南部を除く北海道にのみ分布し、道東に多いと言われています。名前の通り、後脚の膝が黒いのが特徴。草原にすみかすれたような乾いた音でジジジッと短く鳴きますが、鳴くといっても、口から声を出しているではありません。後脚と翅をこすり合わせるにより音を出しており、その様子は貧乏ゆすりをしているようにも見えます。

ネイチャーセンター周辺では、春国岱の草地や東梅自然学習林のあずまやの周辺で鳴き声をよく聞きますが、警戒心が高いようで、人が近づく気配で鳴くのをやめてしまうことがあり、姿を確認した記録は少ないです。写真は北方原生花園で6月に撮影したもの。木道のすぐ脇で声が聞こえたため、声の近くでじっとしていると草陰に姿を現しました。

【参考文献】伊藤他、1996. 全改定新版 原色日本昆虫図鑑 下巻. 保育社.  
川崎. 2020. 「牧草地わきにヒザグロナキイナゴ」. サロベツ湿原センターホームページ. (2023/6/21 閲覧. <http://sarobetsu.or.jp/swc/topics/2786/>)

## 5・6月に東梅自然学習林と春国岱で 観察会を行いました

5月21日に、東梅自然学習林で「小鳥の小道ネイチャーウォッチング」を開催しました。当日は7名の方にご参加いただき、根室市内だけでなく、道北から足をお運びいただいた方もいらっしゃいました。鳥の鳴き声は覚えるのが難しいことから、諦めている方も多いのですが、さえずりがよく聞こえる時期なので、今回は鳴き声に注目した内容で開催。参加者からは「朝早い時間に歩いたのは初めてで新鮮。意外と多く鳴いていた。」「さえずりと地鳴きの違いがわかった。鳴き方を覚えられた。」といった感想が聞かれました。

6月25日には「春国岱・初夏のハイキング」を開催し、3名のご参加がありました。当初18日開催予定だったのですが、強風のため25日に順延しての開催。天気にも恵まれ、動物たちもたくさん姿を見せてくれました。参加者からは「生息域が違う植物を1つ1つ見られてよかった。」「シカ、キツネ、鳥類など豊富に見られてよかった。」といったお声をいただきました。

春国岱では秋にも観察会を予定しています。双眼鏡の貸出もありますので、自然観察初心者の皆さんもぜひご参加ください。

## トピックス



▲5月21日「小鳥の小道ネイチャーウォッチング」の様子。上：立ち止まって小鳥を観察。下：植物の観察。

# 見どころMAP

※虫の多い季節です。マダニもいますので、なるべく肌を出さない服装、虫よけスプレーや蚊取り線香のご利用をおすすめいたします。

※6月29日に春国岱の風蓮湖を挟んだ南側にあたる、道の駅スワン 44 ねむろ周辺の道路上でヒグマ親子の目撃がありました。散策の際は、大きな音や声を出しながら歩く、なるべく一人で歩かないなど、十分にご注意ください。



春国岱ヒバリコース木道は、修復工事のため8月上旬ごろまで通行止めです。海側に迂回路がありますので、迂回路をご利用ください。木橋より奥のキタキツネコース、アカエゾマツコースは通常通りご利用いただけます。

キタキツネコースでは、ノビタキやオオジュリンの姿が見られます。

自然学習林内は、巣立った幼鳥と出会うことがあります。親鳥が虫をくわえたまま鳴いているときは警戒のサインですので、その場を離れてください。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 7・8月の見どころ予報

### 凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よーく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	○	少数が風蓮湖周辺で子育てをしています。干潮時、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、魚や水鳥などを狙っている姿が見られます。8月になると巣立った幼鳥が観察できるかもしれません。
タンチョウ	○	春国岱周辺の干潟などで採食している姿や、休む姿が見られます。ネイチャーセンター東側の温根沼大橋周辺で10~20羽がよく見られます。ヒナを育てているつがいは、とても神経質になる時期なので、落ち着かない様子のタンチョウがいたら、すぐに離れてください。
アオサギ	○	多い時は200羽近くが春国岱に集まり、干潮時に水辺で魚を捕らえる姿が見られます。最盛期は、8月~9月。夕方になると、群の一部が自然学習林に移動して休んでいることがあります。
シギチドリ類	+	繁殖を終えたシギ・チドリ類が7月下旬から渡来し始め、風蓮湖や根室湾の干潟で採食する様子が観察できることがあります。メダイチドリ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、キアシシギ、トウネンなどが見られます。
春国岱	野鳥 (森)	鳥たちのさえずりは、あまり盛んではなくなりますが、ルリビタキ、ミソサザイなどの声が聞かれます。
	野鳥 (草原)	海岸の草原ではヒバリのさえずりがよく聞かれます。湿原では、マキノセンニュウやシマセンニュウ、ノビタキ、オオジュリンなどのさえずりが聞かれます。巣立った幼鳥と出会うこともあります。
	花	ハマナスの花は7月中旬ごろまでで、下旬には実が付きまます。7月はマルバトウキ、ウミミドリ、エゾハコベが見頃です。8月にはウンラン、エゾオグルマ、ナミキソウなどが見られます。
自然学習林	野鳥	センダイムシクイ、ミソサザイ、エゾセンニュウなどのさえずりが聞かれることがあります。ハシブトガラ、ヒガラ、ゴジウカラ、コムクドリ、キツツキ類 (アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ) が見られます。
	花	7月はミゾホオズキ、エゾタツナミソウ、キツリフネ、サルナシ、ハシドイなど。8月はエゾトリカブト、ハンゴンソウ、チドリケマン、ヤマハハコなどが見られます。
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようにご注意ください。マダニ・カ・ヌカカを防ぐため、虫よけ剤の塗布、肌を出さない服装をおすすめします。

## 子育て奮闘

キタキツネの尻尾といえば日本ハムファイターズのキツネダンスでもご存じのようにフサフサで立派なイメージがあります。今年の5月初旬、ネイチャーセンター正面の浜辺を歩く1匹のキツネがたびたび自撃されていました。そのキツネの尻尾はあまりにも細く情けなく見えたことからスタッフの間で“みすぼらし尻尾のキツネ”との愛称で呼んでいました。

5月半ば、小鳥の小道7番から根室湾を見ていると、海の方から1匹のキツネが浜に向かって歩いてきました。尻尾を見ると例のキツネでした。浜に上がると岩の下に鼻先を突っ込み何かを探しています。しばらくすると魚が跳ねました。逃がさないようそれを口にくわえそのまま歩きだし斜面を登って東梅自然学習林に入っていました。5分くらいして、小鳥の小道10番付近の観察路を横切る同じキツネを見つけた時には何もくわえていませんでした。

# NEWS



▲海から上がって来た尻尾の細いキタキツネ



▲ネイチャーセンター観察窓の近くでじゃれあう子ギツネ ※館内から窓越しに撮影

6月1日、ネイチャーセンター観察窓の下を東梅自然学習林に向かって例のキツネが歩いていきました。その翌日、観察窓の前でくつろぐ4匹の子ギツネと毛並みのいい親ギツネが現れました。

さらにその翌日、口に何かをくわえた例のキツネが日に何度も観察窓の前を通過して東梅自然学習林に向かっていきました。子育てをするメスと子ギツネのもとにエサを運んでいたのです。浜辺を歩いていたのもエサとなる魚を一生懸命探していたのでしょうか。“立派”にイクメン奮闘してたのです。

先日、「自然学習林でクマが吠える声が聞こえるからネイチャーセンターに戻ってきた」と、来園者の方から通報が。スタッフが現地に急行してみると、なんとそこにはカラスに向かって威嚇して吠えるキタキツネの親がいました。きっと子ギツネを必死に守っていたのでしょう。

8月ごろ子ギツネたちは独り立ちします。子育ての邪魔にならないようそっと見守ってくださいね。

## 春国産クイズ

4～6月にかけて、根室市内でのヒグマの目撃情報が多発しています。過剰に恐れる必要はありませんが、自然散策は野生動物の生息地にお邪魔することになるので、「ヒグマがいるかもしれない」と念頭に置いて行動し、安全に楽しみたいですね。

ヒグマ本体を見なくても、糞があったら近くにいる可能性があります。では、次の写真のうち、ヒグマの糞の写真を全て選んでください。

①



②



③



④



## ★春国岱ネイチャーセンターのイベント情報★

### ◆7/23 海べのいきものと遊ぼう！（海辺の生きもの観察会） 要申込

春国岱周辺の干潟（ネイチャーセンターの前浜）で、レンジャーと一緒に海辺の生きものを探し、観察しよう！毎年人気のイベントですので、お申込はお早めに。 ※生きものを持ち帰りはできません。

- ◇開催期間：7月23日（日）9：30～12：00 ※風雨の強い時は中止
- ◇集合／解散：春国岱ネイチャーセンター／春国岱駐車場
- ◇対象：3歳～おとな（小学生以下は保護者同伴；17歳以下の方は保護者の方に参加申込確認書にご署名いただけること）
- ◇定員：20名（先着順）
- ◇参加費：1人100円（保険代）
- ◇服装・持ち物：ぬれてよいスニーカーまたは長靴（危険防止のためサンダルは不可）、すべり止めのついた軍手、日焼け止め、虫よけ（スプレーなど）、帽子、飲み物、着替え、タオル、筆記用具
- ◇申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名・小学生以下の方は年齢・学年もお知らせください
- ◇申込メ切：7月21日（金）17：00
- ◇申込み・問合せ先：根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター  
電話 0153-25-3047  
メール nemu\_nc@marimo.or.jp



募集中！

### ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回（基本的に第3月曜日）の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

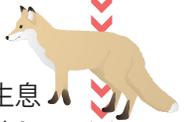
ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

### フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします。



クイズのこたえ 答③。①・②はエゾシカの糞。春夏のエゾシカの糞は、食べ物の影響でこぶし大になることがありますが、よく見ると小さな粒状の糞がまとまって大きくなっています。④はキタキツネの糞。昆虫の翅がたくさん混ざっています。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu\_nc@marimo.or.jp

HP [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆開館時間 9：00～17：00（4～9月）

◆休館日：（毎週水曜日、祝日の翌日（土・日を除く）、水曜日が祝日の場合翌々日）

7月5・12・18・19・26日 8月2・9・14・16・23・30日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制・2週間前までにご連絡ください）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録